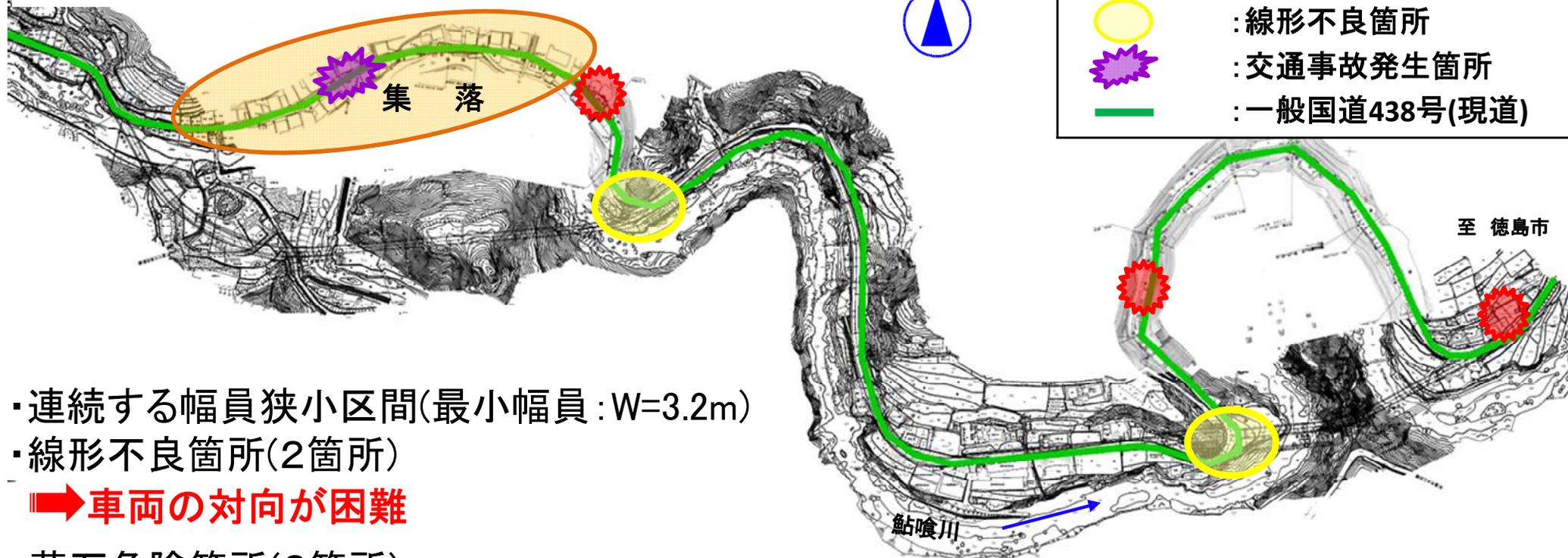


再評価【番号1】

一般国道438号
上分バイパス

1. 現道の道路交通上の課題

至 美馬市



凡 例	
	: 落石危険箇所
	: 線形不良箇所
	: 交通事故発生箇所
	: 一般国道438号(現道)

至 徳島市

- ・連続する幅員狭小区間(最小幅員: $W=3.2m$)
- ・線形不良箇所(2箇所)
 - ➡ 車両の対向が困難
- ・落石危険箇所(3箇所)
 - ➡ 安全な通行に支障
- ・現道が人家連担区間を通過
 - ➡ 交通事故の危険性

【道路利用者の声】

カーブが多く、幅員が狭いため、不慣れな他地区からの車が内回りしてくるため、大変危険を感じる。

(50歳代男性)



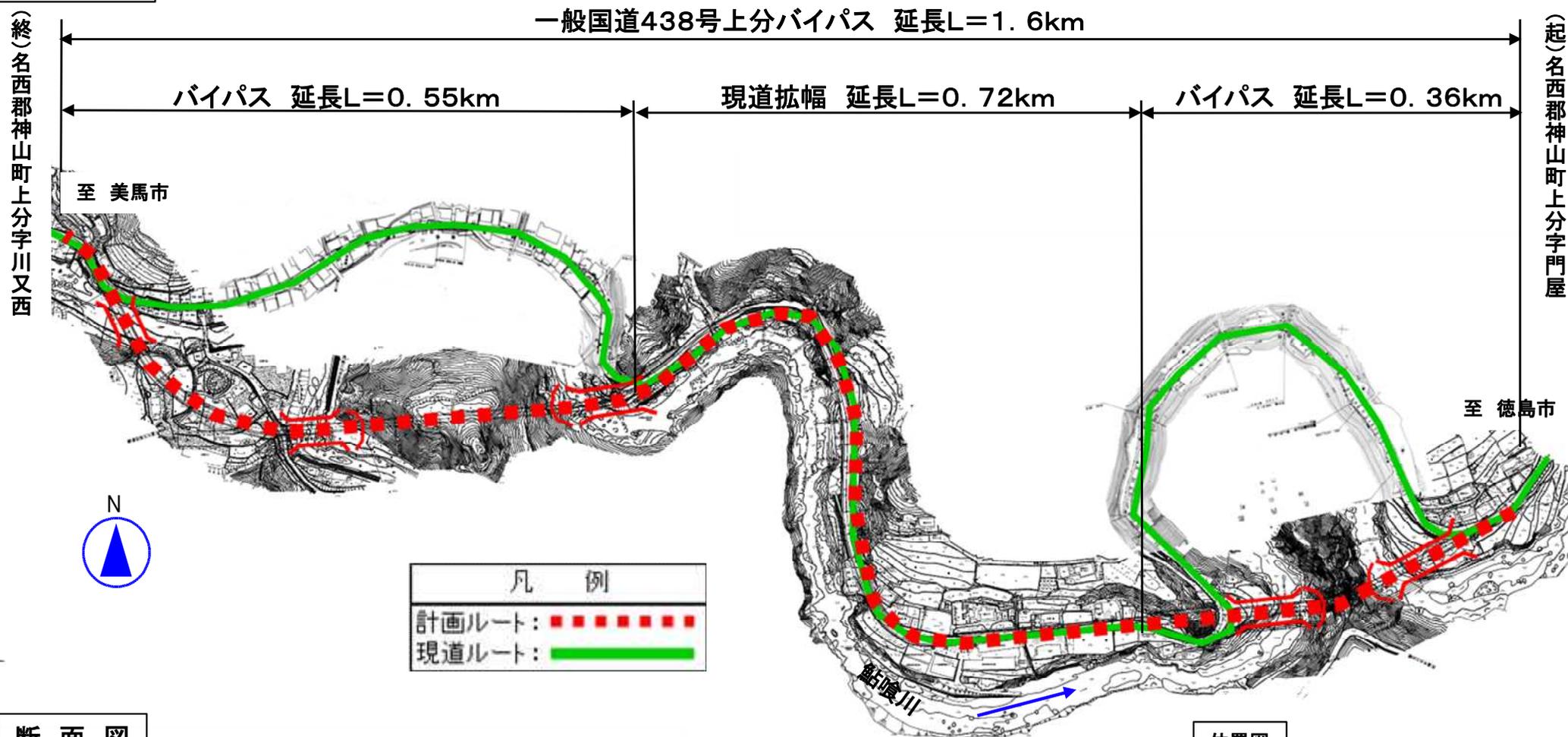
現道の対向状況



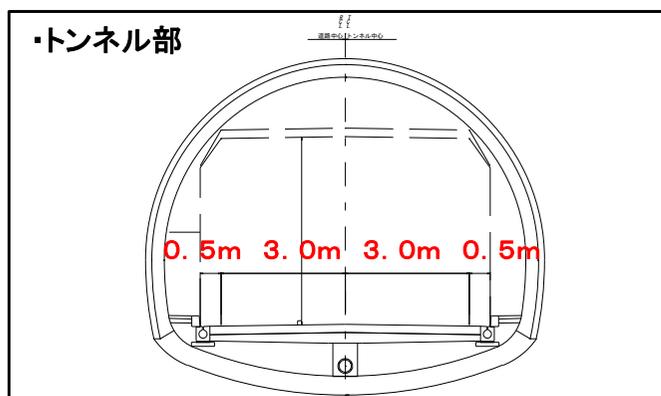
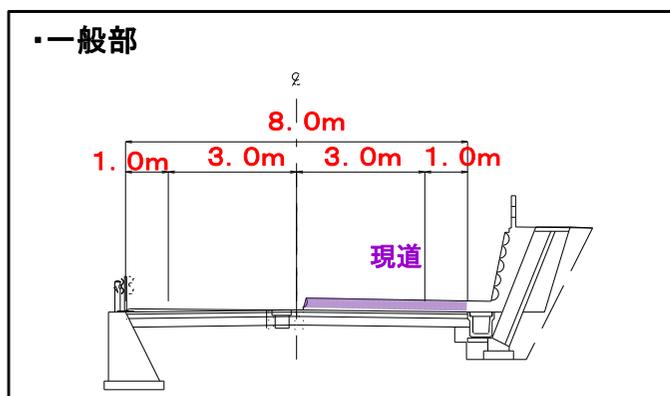
事故発生箇所付近の状況

2. 事業概要

平面図



断面図

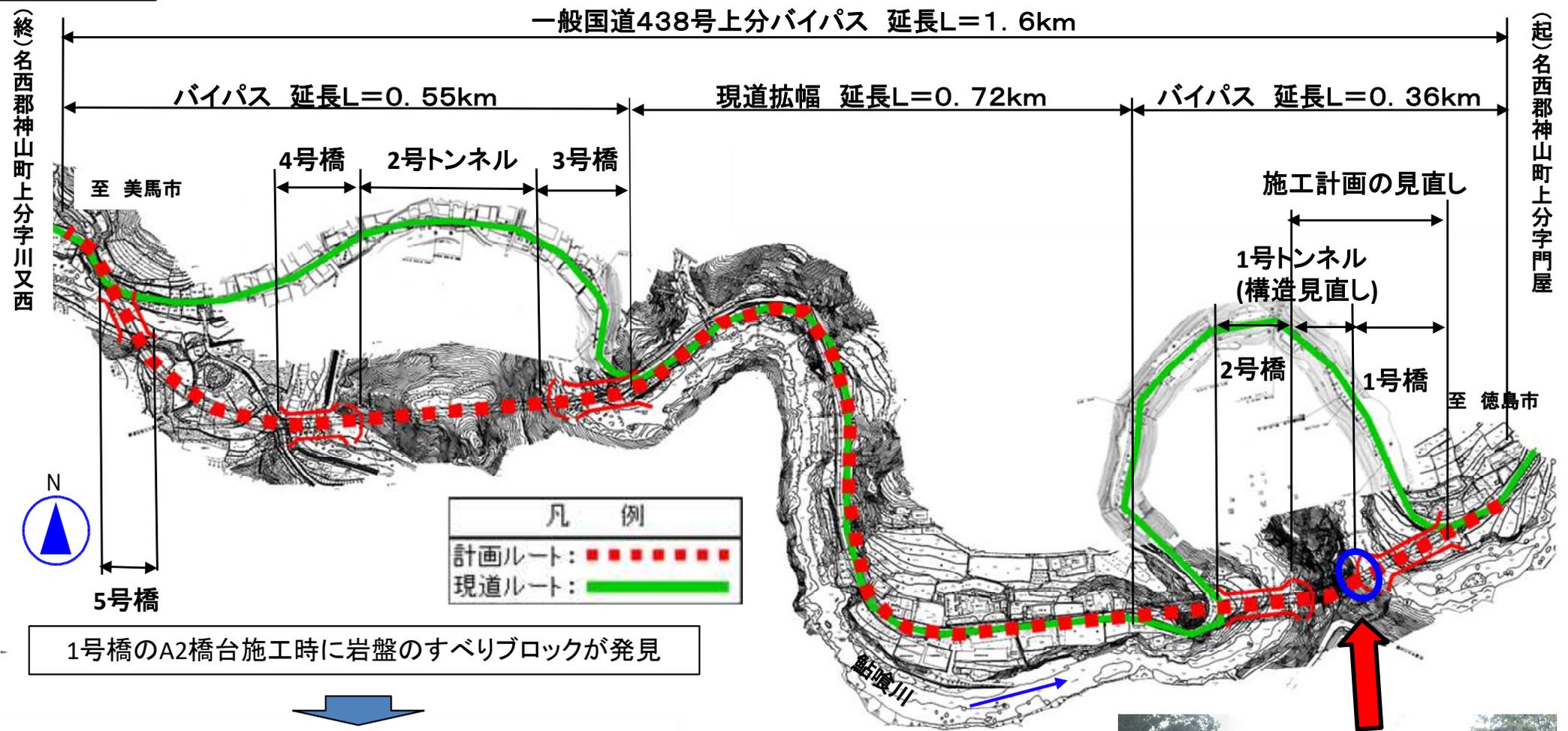


位置図



2. 事業概要

平面図



1号橋のA2橋台施工時に岩盤のすべりブロックが発見

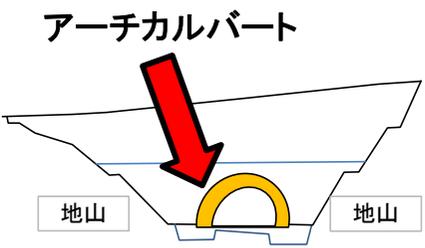


現地調査・仮設を含めた工法検討の実施



周辺の施工計画を変更
(仮設構台取りやめ、オープン掘削後の平場を1号橋施工ヤードに)

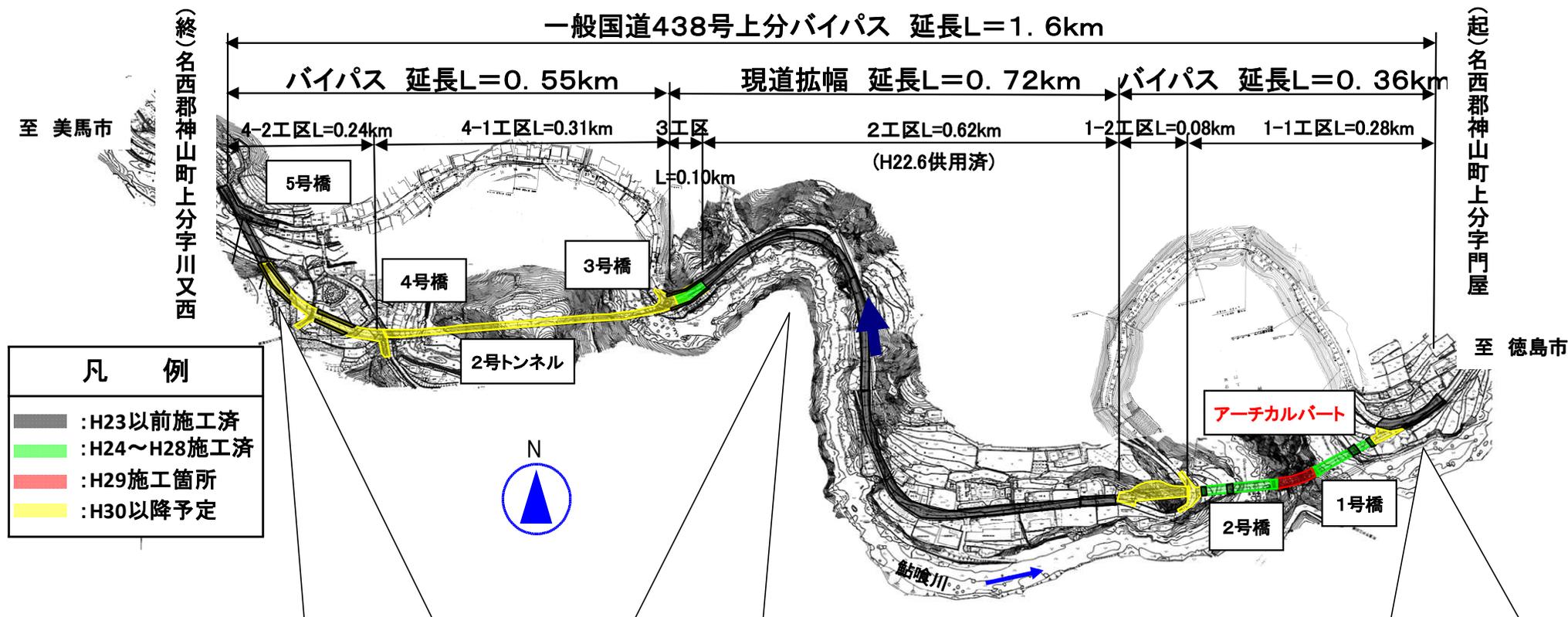
1号トンネルをアーチカルバートへ



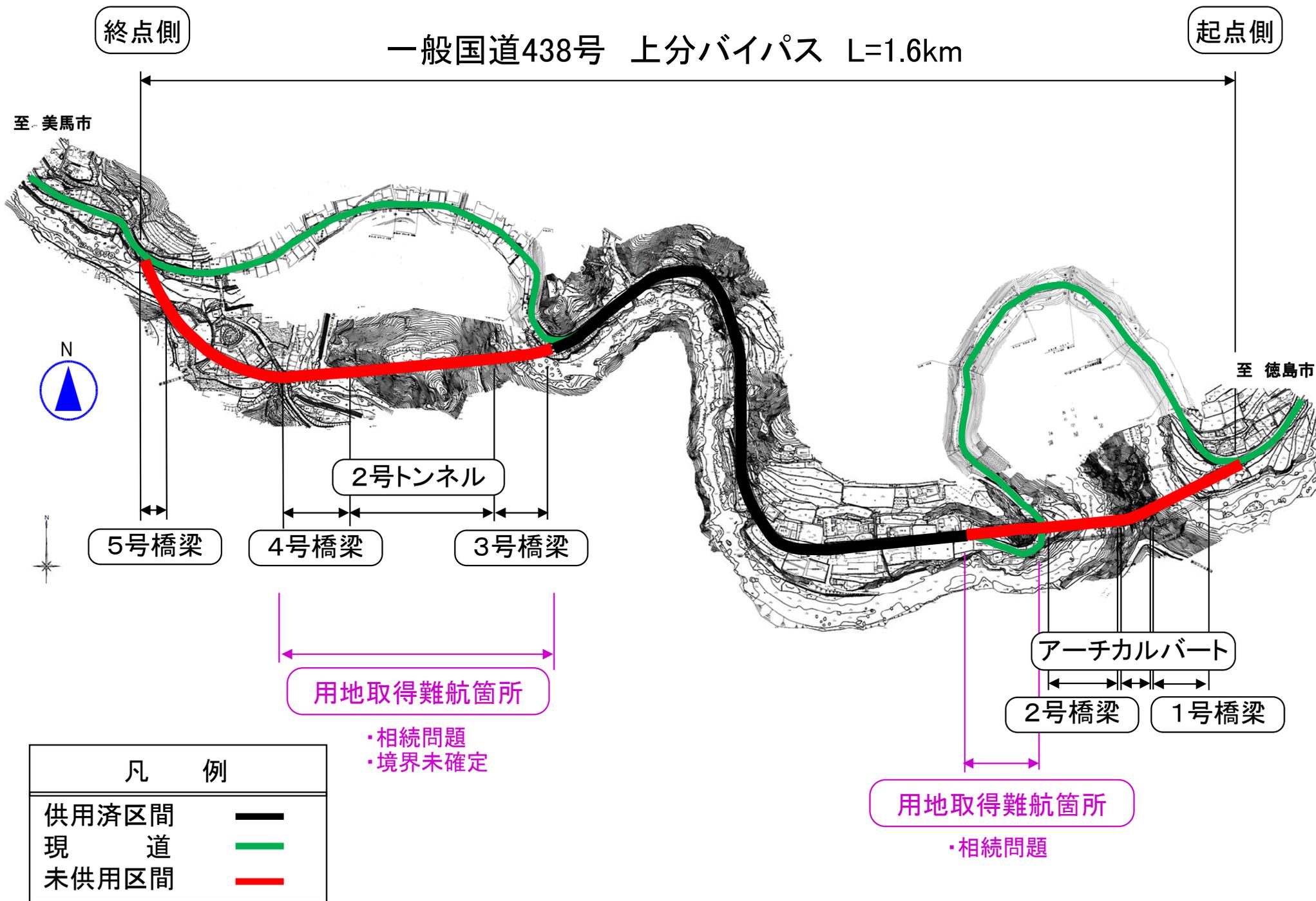
変更後の断面図



3. 事業の進捗状況



3. 事業の進捗状況



4. 事業評価結果

貨幣価値換算可能な整備効果

便益(B)

- ・ 走行時間短縮便益
- ・ 走行経費減少便益
- ・ 交通事故減少便益

計 **39.2億円**
(現在価値化後)

費用(C)

- ・ 事業費
- ・ 維持管理費

計 **37.9億円**
(現在価値化後)

$$\underline{B/C = 1.0}$$

その他の便益(B')

医療

- ・ 救命率の向上効果

計 **9.5億円**
(現在価値化後)
9.4億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果
- ・ 騒音低減効果

0.1億円
0.0億円

(参考) $\underline{(B+B')/C = 1.3}$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
- 災害拠点、避難場所へのアクセス強化
⇒ 地域防災力が向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 現道における人家連たん区間を迂回し、歩行者の安全を確保

産業振興

- 物流の効率化
⇒ 輸送の効率化
- 魅力ある観光地域の形成
⇒ 観光産業の活性化

5. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

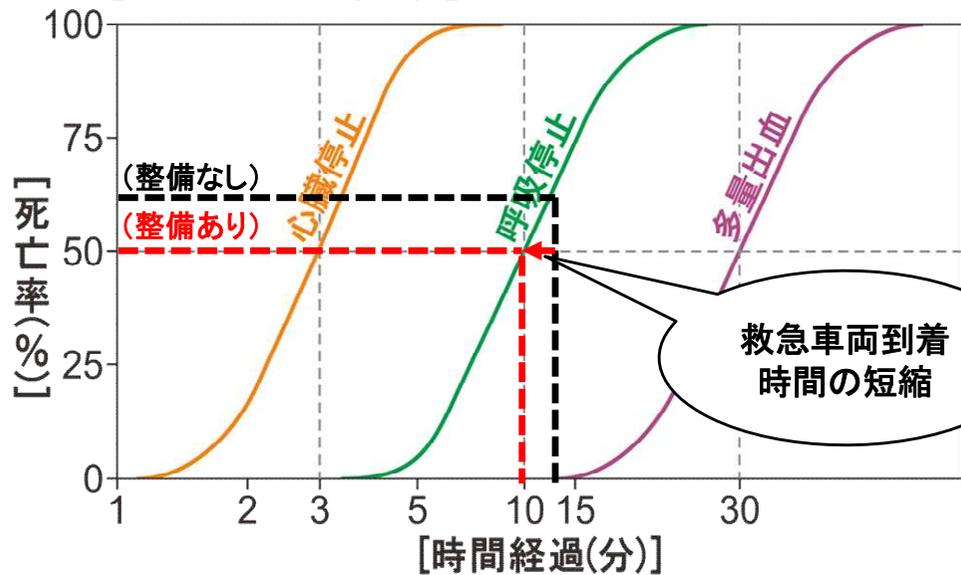
◎その他の便益

医療

■ 救急医療へのアクセス向上効果

- ・ 神山町消防署から集落までの**救急車両の到着時間が短縮**されることにより、**救命率の向上**が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



- ・ 呼吸停止後の死亡率が**約15%低減**

救命率の向上効果 : 9.4億円

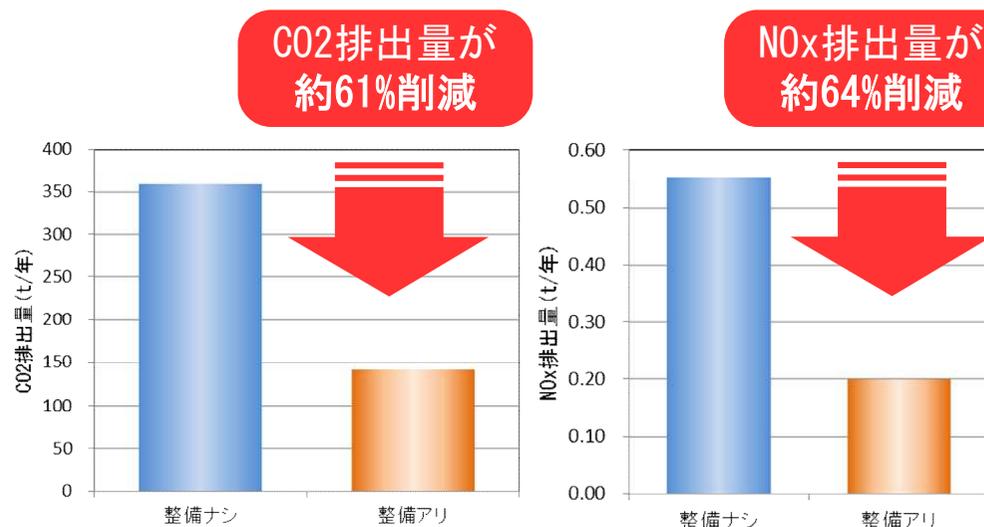
環境

■ 大気汚染や温暖化防止効果

- ・ **CO₂, NOxの排出量が抑制**されることにより、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる

【CO₂排出量】

【NO_x排出量】



大気汚染・温暖化防止効果 : 0.1億円

5. 道路整備による多様な効果②【貨幣価値に表れない整備効果】

防災・減災

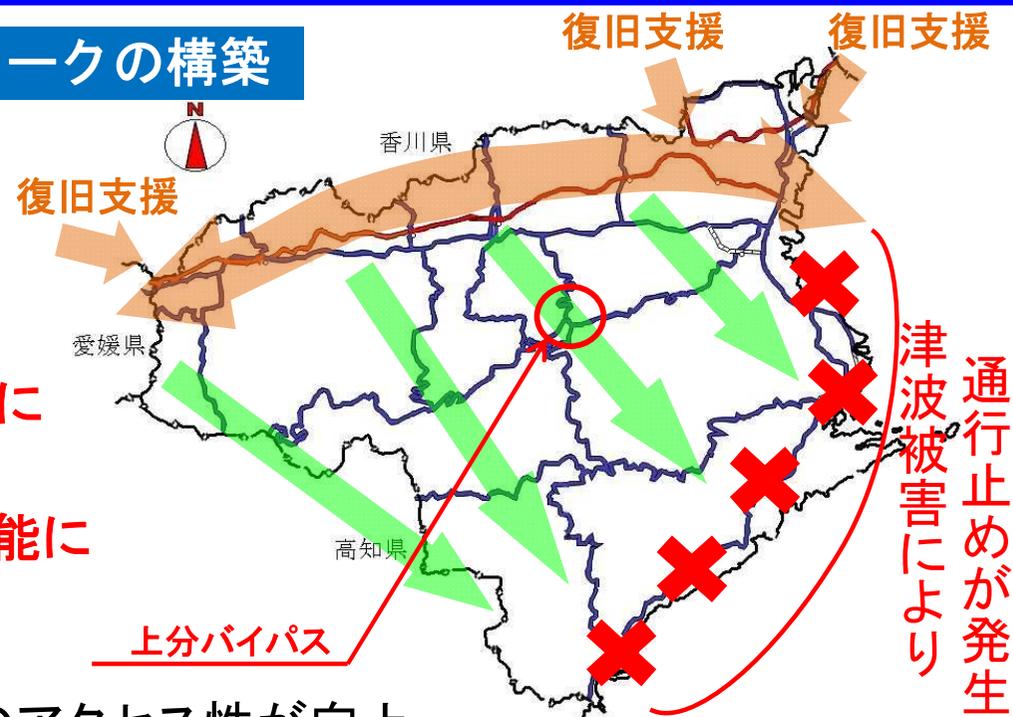
●効果：災害に強い道路ネットワークの構築

①緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・幅員狭小の解消 (W=約3.0m → 8.0m)
- ・線形不良の解消 (2箇所 → 0箇所)
▶▶▶走行性の向上により、物資輸送等が円滑に
- ・落石危険箇所の解消 (3箇所 → 0箇所)
▶▶▶危険箇所の解消により、安全な走行が可能に

②災害拠点、避難所へのアクセス強化

- ・工区周辺のヘリコプター降着適地、避難所等へのアクセス性が向上
▶▶▶地域防災力の向上により、災害への確実な備えに



5. 道路整備による多様な効果③【貨幣価値に表れない整備効果】

安全・安心 ●効果：地域の安全・安心の確保

①安全安心の確保

- ・人家連たん区間内を通過している幅員狭小な現道を迂回
- ・事故発生箇所を迂回（H19.9月に発生）

➡歩行者の安全を確保



現道の通過交通が
バイパスに転換し、
歩行者の安全を確保

歩行者通行状況

産業振興 ●効果：地域経済の活性化

①物流の効率化

- ・中央卸売市場までの搬送時間が短縮

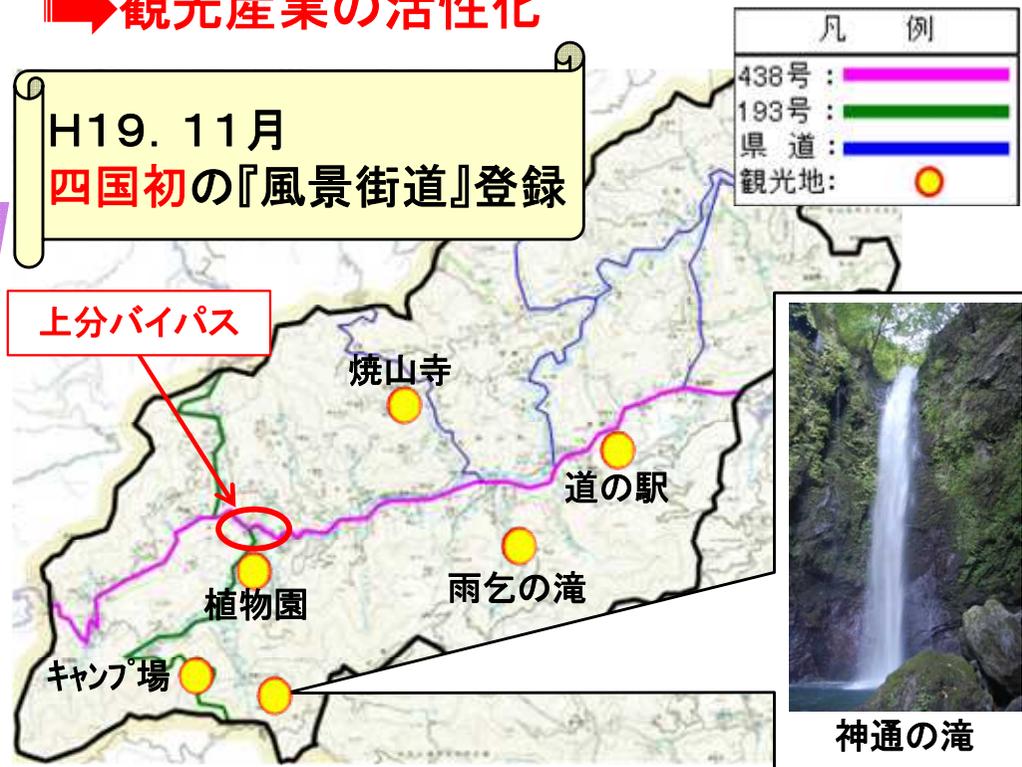
➡農作物等の輸送の効率化



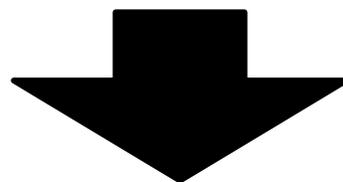
②魅力ある観光地域の形成

- ・運転に不慣れな観光客等の安全性が向上

➡観光産業の活性化



- 用地調査を進めて、結果を踏まえての分析を行い、用地問題の早期解消
- 起点側のパイパス区間について、部分供用による、早期の事業効果の発現



事業継続